



まちづくり通信

やまだ

<http://machikyou.jp//yamada/>

山田学区(10月31日現在)

人口	7,983人
男性	3,938人
女性	4,045人
世帯	3,097世帯

発行者

山田学区まちづくり協議会
山田市民センター内
草津市南山田町678
Tel・Fax (562) 0044

まちづくり協議会臨時総会 組織等の見直しに伴う会則改正案を承認

山田学区まちづくり協議会の平成26年度の臨時総会を、11月22日に山田市民センターで開催しました。

今回の臨時総会は、協議会設立後2年余りが経過するなかで、明らかにってきた組織体制や運営面の課題に対応するため、提案された「会則改正」の議案を審議いただき、原案どおり可決されました。

改正の基本的な考え方は次のとおりです。

その一つ目は、協議会の設立の趣旨を、より明確にしたことです。



多様化していく様々な「地域の課題は、地域住民や各種団体などが力を合わせて、協働の取り組みによって、自らの地域で解決していく」という考えをみんなで共有するためです。

二つ目は、組織運営にあたっては、幅広い参加と連携できる機会の保障、透明性が高い民主的な運営を基本とし、不断の努力を重ねていくこととしています。

また、具体的な組織面では、協議会運営全体の調整を行う総務委員会のほか、6つの専門部会を設け、分かりやすく機能的なものとしています。

今後、27年度の協議会運営が円滑なものとなるよう準備を進めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

改正の概要を次ページに掲載しましたので、御覧ください。

地震災害を 吹っ飛ばせ！

自らの命を守る自助行動訓練として、「くさつシェイクアウト2014」が実施されます。山田学区まちづくり協議会もこの事業に参加します。

この訓練は、市内一斉緊急放送システムから、市内全域にサイレンの吹鳴、緊急放送で開始します。安全な場所を探し、丈夫な物のそばで動かず、上から落ちてくる物に注意をする行動をお願いします。

「1.まず低く」「2.頭を守り」「3.動かない」行動訓練です。

◆実施日時

12月7日(日)

午前10時

(行動訓練は、1分間です。)

皆さんの御協力をお願いします。

◆災害に備えよう 学区防災訓練

11月16日(日)

今年の防災訓練は、「自助」「共助」をテーマに、地域の自主防災組織の関係者や学区防災員、町内会長などを対象に、山田小学校体育館で実施しました。



第1部では、神戸市の人と防災未来センターから木戸崇之さんを招き「減災」をテーマに、イザという時に致命的な被害に遭わないために、今から準備できることなどについて講演いただきました。

第2部は、市危機管理課の指導のもとで、図上訓練を実施しました。参加者が11のグループに分かれ、地図上に危険箇所や避難スペース、消防水利などを記し、山田の実態を知る機会となりました。

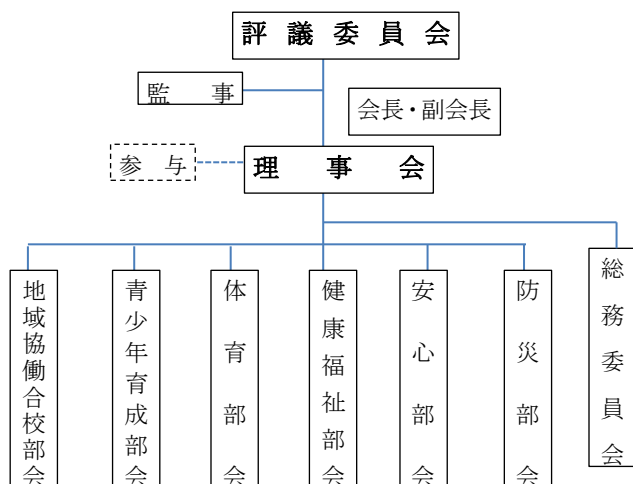
琵琶湖西岸断層帯の地震や南海トラフ巨大地震などが取りざたされており、万一のときに、被害を最小限に食い止めるために、今後も「減災」に向けた取り組みを進めてまいります。

寒い中、ご参加をいただき、ありがとうございました。

組織見直しのポイントと方向性

- ①部会の名称を含め、住民から見て、わかりやすい組織としました。
- ②地域の連携を強化するため、すべての町内会長を理事としました。
- ③まち協の活動は、地域課題の解決に向けた取り組みにシフトしていきます。
- ④従来の各種の行事は団体に委ね、まち協は、後方支援を担うこととしました。
- ⑤専門部会員は、常任部会員と関係する取り組みに関わる部会員とし、活動の深化と部会員の負担軽減を目指します。
- ⑥まち協は、多様な人材が参画し、地域の課題に取り組むステージとします。

新しい組織図



◆地域の課題は地域で解決



皆様には日頃から、山田学区まちづくり協議会の諸活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、高度情報化と超高齢化による社会構造の変化によって、私たちが暮らす山田でも、生活様式が変わり続けています。その上、地球環境の変動もあって、地域の課題は複雑多岐にわたっています。

これらのことから、地域の課題には、山田学区の住民が、立場を超え、一致協力して対応することが重要になっていきます。時には、近隣の地域や山田学

区を含む広範囲の地域との協力が必要です。

そのための組織が山田学区まちづくり協議会であり、臨時総会の議案は、その協議会活動を充実させるものであり、ご承認いただいたことに、厚くお礼申し上げます。

今後は、役員一同が力をもつにして、課題の解決と、山田学区の発展を目指したいと思っています。

皆様のより一層のご支援ご協力をお願いします。

会長
川那辺孝六

シンボルマーク決定！

山田学区まちづくり協議会のシンボルマークを決定しました。

作成にあたっては、松原中学校美術部にデザインを依頼したもので、このシンボルマークには、ひらがなの「や」をモチーフに、これからも山田学区が笑顔いっぱい楽しい地域であって欲しいという願いが込められています。

今後、協議会を象徴するマークとして、広報誌などに用いることによって、協議会をより身近に感じていただき、多くの方の活動への参加に結びつけたいと考えています。



市長と膝を交えて

まちづくりトーク

11月10日(月)

地域が抱える課題を話し合う、市長とまちづくりトークを山田市民センターで開催しました。



会議には、まち協の役員と市長および担当部署の職員が出席し、「地域の防災力を高めるための支援について」と「指定管理者制度導入後の市とまち協の関係について」をテーマに話し合いました。

特に、地震災害を想定した市のアセス評価では、山田学区は家屋の倒壊など市内で最も高い被害想定がされています。防災への取り組みが地域の大きな課題としたうえで、市の支援や地域のすべきことなど、活発な意見交換が行われました。

今後のまち協の活動に繋がっていきます。

山田ふれあいまつい

市長あいさつ



大盛況で
開催しました
11月2日(日)



幼稚園児鼓隊演奏



ヨーヨーつり



バンド演奏

市長も餅つき



今年は、会場を小学校に変更しました。

時折、小雨が降るあいにくの天気でしたが、例年を上回る多くの皆さんに参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。

今年もオープニングをつとめてくれたのは、山田幼稚園児の鼓隊演奏。かわいい子どもたちに、たくさんの拍手が送られました。

午後から、バンド演奏や公民館自主教室の発表が行われました。

屋外では、恒例の餅つきや模擬店に行列ができ、大変好評でした。

ふれあいまつりの企画から運営まで、御協力いただいた皆さん、模擬店に出店いただいた皆さん、ありがとうございました。

「山田ふれあいまつり実行委員会」



たこせん・ホットケーキ



フランクフルト

大抽選会 おめでとうございます

今回、餅つきコーナーに、募金箱を設置しました。

募金額 16,530円

この募金は、広島県の土砂災害被災者支援に送らせていただきました。

ご協力ありがとうございました。



人権講座

「尺八と唄いながら

人権教育を考える」

・講師 小寺正宣さん

元松原中学校長

・日時 12月12日(金)

午後7時30分

・場所 山田市民センター

多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

学区同和教育推進協議会

いっぷくサロン
ストレッチ体操

寒さで硬くなった体を、ストレッチでほぐしましょう。転倒予防にもつながります。椅子に座って、出来るストレッチなどを紹介します。

受講料は無料です。飲み物・タオルを持参ください。

こよみ

★防犯講座

12月3日(水)19:30～

★離乳食レストラン

12月5日(金)

★家庭教育支援学級

パネルシアター

12月8日(月)10:30～

★いっぷくサロン 寄せ植え講座

12月11日(木)13:30～

★人権講座

12月12日(金)19:30～

★わんぱくひろば 書初め練習

12月13日(土)9:30～

★山田市民センター大掃除

12月20日(土)

★市民センター休館日

12月28日(日)～

1月4日(日)

★いっぷくサロン ストレッチ体操

1月22日(木)13:30～

★わんぱくひろば 体験教室

1月24日(土)9:30～

☆ヨシ刈り 北山田湖岸

1月25日(日)9:30～

★学区同推協 総括研修会

2月5日(木)19:30～

★印の会場は山田市民センター

(公民館)です

・日時 1月22日(木)

午後1時30分

・講師 松見 輝子さん

健康運動指導士

・申込・締切 1月15日(木)

山田市民センター

ヨシ刈り

琵琶湖岸のヨシ群落を守り、育て活用する活動の一環として、ヨシ刈りを実施します。

多くの方のご参加をお願いします。

・日時 1月25日(日)

午前9時30分

・場所 北山田湖岸

・準備物 長靴・手袋・鎌

寒くない服装でお越しください。

さい。

山田21ふるさと健・幸

推進委員会

ニゴロブナを放流

10月27日(月)

山田小学校4年生は、毎年、山田漁業協同組合の皆さんに協力いただき、県水産振興協会が育てたニゴロブナの稚魚を琵琶湖に放流しています。

今年は、天候にも恵まれ、副組合長の横江さんから、琵琶湖のお話を聞き、フナずしや魚網を見せていただいたあと、船に



乗り琵琶湖の沖で「大きく育つて」と願いを込め、稚魚を放流しました。

また、北山田漁港で働く方たちとのふれあいや、船から眺める琵琶湖の景色を満喫していました。

この活動を通して、子どもたちは、琵琶湖の水環境や琵琶湖を取り巻く環境保全の大切さと食文化について学びました。



環境講座を開催

11月7日(金)

「私たちの暮らしと温暖化」をテーマに、県地球温暖化防止活動推進員の山本悦子さんにお話しいただきました。

地球温暖化がこのまま進むと、極端な気温変動や降水、深刻な海面上昇などが起こり、私たちの生活や健康にも重大な影響を及ぼします。

温暖化の要因である二酸化炭素の排出を減らすためには、一人ひとりが、省エネの視点をもつことが大切です。

季節のたより

山田幼稚園の園庭で見つけた菊。秋の日差しに負けないくらいに輝いて、咲いていました。

幼稚園では、地域の方か苗をいただき、親子それぞれが自分の菊として、育てているとのこと。ほほえましさを感じます。

市民センター前のイチヨウも見ごろです。

